

季刊
第22号
2016年3月発行号

小林のぶゆき

見える
わかる
変わる
今こそ横須賀を
私たちのものに

横須賀市議会議員 小林伸行の議会活動報告

無所属40歳



発行人 小林伸行

住所 野比2-13-18

Fax 050-3737-3872

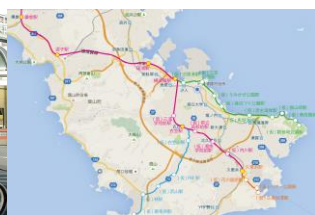
移動事務所 ☎070-6640-3927

✉ info@kobayashinobuyuki.com

Web http://kobayashinobuyuki.com

野比在住。昭和50年9月3日、福島県生。
筑波大学卒。地域情報誌と環境コンサル
ティングに携わるが、地域の疲弊と日本の
将来を憂い、政治を志す。政策秘書試験
合格後、衆議院議員長島一由(前逗子市
長)公設秘書として修行し、2011年4月より
横須賀市議会議員。マニフェスト大賞でも
4年連続で受賞するなど政策派として活躍

小林のぶゆき 検索



総力特集

ヨコスカ市電計画

人口流出日本一の横須賀。

だったら、電車を走らせたらいいんじゃないか？

総力特集

ヨコスカ市電計画

「人口流出No.1」の衝撃。

人口流出に苦しむ横須賀市。10年以上も前から、定住対策を市の最大の課題として様々な取り組みを進めてきましたが、対策は実を結んでいません。

2013年には人口流出全国ワースト1位に。2014年は大規模マンション竣工の影響で17位まで持ち直したものの、2015年には再び2位に転落しました。

こうした中、市外からの転入者に対し様々な補助金制度等を実施してきましたが効果をあげていません。「住むまち」というイメージが薄いため盛んに広告宣伝もしていますが、実がないので響いていません。

結局、ニンジンぶら下げられても、イメージ刷り込みされても、住みたくない場所には住まないのかもしれません。

じゃあ、どうすればいいのか？

近隣の鎌倉・逗子・葉山・藤沢では転入が多いのに横須賀は逆なのは、なぜなのか？ 正直、イメージが悪いんだと思います。そして、川崎が公害イメージを払拭したように、挽回するにはそもそも住むまちとしての基本的条件を向上する必要があるんじゃないか？



人口流出日本一の横須賀。
だったら、電車を走らせたら
いいんじゃないか？

よく言われるのが「横須賀って遠いよね」「不便そう」ということ。都心からの距離は藤沢とたいして変わらないのに、交通利便性が低いとされている。

そこで、電車なのです。

横須賀に市電を走らせる！

横須賀の公共交通には、2つの大動脈があります。京急線とJR横須賀線です。

このうち京急線は鉄道インフラをかなり有効利用していて、京急本線・京急久里浜線ともに増便や延伸の余地は小さいでしょう。

一方のJR横須賀線はどうか？ 3.11の後、本数がおおむね1時間に4本から3本に減。湘南新宿ラインも横須賀駅から逗子駅始発に変更されてしまった。つまり鉄道インフラとしては、まだまだ有効利用できるのです。また、かつて戦時中に運行していた久里浜～久里浜港間や、かつて計画されていた衣笠～御幸浜間など、延伸の可能性だってあります。

そこで、考えました。「横須賀線の線路を借用して市電を走らせることはできないか？(逆・上下分離方式)」、「LRT(写真のような新型低床路面電車)を導入し、駅も増やして、暮らしと観光の足として活躍させられないか？」

→裏面に続く



画像提供: Railstation.net





ヨコスカ市電計画



詳しくはコチラ

→<http://goo.gl/JjwSbb>



「ヨコスカ市電計画」

そこで考えたのがズバリ、「ヨコスカ市電計画」です。

地方都市でも海外でも、人口40万人のまちなら、市電ぐらい走っていて当たり前です。LRTは欧州で人気があり、国内では富山市が導入。今後は、宇都宮が秒読み段階で、横浜や岡山・名古屋・神戸等でも検討が進んでいます。市電があれば、市民や観光客にも愛され「歩いて楽しいまち」になるんじゃないか？

もともと、高齢化も進み、車を持たない人も増える中、「買い物難民」を生まないコンパクトなまちづくりは市の都市計画でも規定路線です。また、市は「観光立市」を目指しています。全国屈指の日帰り観光地・

鎌倉から飲食等が充実した横須賀市に市電で誘導し消費額の大きい宿泊客を取り込む狙いもあります。

日本は電車もガラパゴス化？

「今さら行政が鉄道を手がける時代じゃない」と言う人もいるかもしれませんが、でも、世界を見渡せば、公共交通を行政が支えるのは当たり前。ガラパゴス化していたのはケータイだけじゃない。逆に言えば、今のままでは人口減少と郊外化でさらに乗客数が減り、横須賀線の本数減や逗子以南の廃線も噂されます。そうなれば、まちの元気はさらに失われる。負のスパイラルに陥る前に、人口流出日本一のまちだからこそ大きな一手を打ち出すべき。私はそう考えています。

【第2回市民と議員のよこすか未来会議】

前回、参加者から頂いた声は、会派・研政の予算要望にどう反映されたのか？ 予算要望は 2016 年度予算に反映されたのか？

- 日 時：4/15(金)18:30-20 時
- 場 所：ヴェルクよこすか
- 対 象：どなたでもどうぞ
- 参加費：無料
- 主 催：研政



【18 歳選挙 10 代・20 代向け 政治カフェ】

選挙権が 18 歳～に。そこで、公民(シチズンシップ)教育の一環として、若者と党派を超えたまちの議員で語り合ってみる企画です。

- 日 時：4/17(日)14-16 時
- 場 所：ヴェルクよこすか
- 対 象：10 代・20 代の方
- 参加費：無料
- 主 催：議員有志で市民の声を聴く会



応援してください！

- チラシのポスティング
- 駅でのチラシ手配り
- ご自宅への看板設置
- 学生インターン

常時、様々な手が必要です。「応援してあげてもいいよ」と思って下さった方は、お気軽にご連絡下さい。

※政治献金・寄付は
頂いていません。

小林のぶゆきの基本政策

見える

誰が何をどう決めてるのかわかんない……。

市政をガラス張りにして「見える化」、意思決定の過程も含め情報公開を進めます。

わかる

難しい説明をされてもよくわからない……。

いま何が問題なのか。いま何が必要なのか。チラシなどを通してわかりやすくお伝えします。

変わる

これまで何も変わらなかった。どうせ変わらない……。

現状が見え、問題がわかれば、変えられます。私たちが払った税金が、私たちに本当に必要なことに使われるよう、変えていきます。

今こそ横須賀を 私たちのものに。

横須賀市政について、私の活動について、みなさまのご意見、ご提案、ご感想、疑問などお寄せください。
必ず私、小林伸行が自分で目を通します！

